

芦屋市立精道中学校建替基本構想について

建替えに至った経緯及び基本コンセプト

精道中学校の校舎棟は工事に着手する平成31年度には築後46年から64年が経過し、施設の老朽化が著しい状況にある。また、平成32年度中には給食を開始する必要がある。教育委員会としては安全・安心で高質な教育環境整備を図るとともに「信頼され魅力ある学校づくり」を推進することにより教育効果を高めたい。

精道中学校建替えの基本コンセプト

『Compact』	小型で中身の充実
『Functional』	機能的な施設
『Healing』	癒しのある空間

【Compact】

3中学校で最も生徒数の多い精道中学校は、最も敷地面積が狭い学校となっており、今までも生徒たちは、他校に比べ不便な学校生活を送って来た経緯がある。また、学校における授業カリキュラムの多様化が進んでおり、個別に対応していくには床面積が増加する問題に直面する。今回の建替えではその解消を図ることを目的とした計画を行なう。

【Functional】

精道中学校は狭小敷地である上に、市街地の中にあるため、コンパクト化することにより、少しでも建築面積をおさえる必要があるが、コンパクト化に重点を置き過ぎ、学校運営に支障とならないよう、教室の配置など機能的な部分で工夫を行なう必要がある。また、地域の核となる施設としての整備を行なう。

【Healing】

学校は、発達途上の生徒たちが、学習・生活する空間であることから、機能性の追求だけでなく、情操教育の推進に配慮した計画を行なう。